

一般財団法人土佐幡多の会 沖縄支部 第2回総会

令和6年10月吉日 支部長 和田達雄『和田ジョンたつお』

皆様お元気でお過ごしのことと思います。

この度、(一財)土佐幡多の会 沖縄支部の和田達雄を支部長として立ち上げ、第2回目の総会となります。幡多を元気にしていきたいとの思いから沖縄に支部を設立し、令和6年11月で1年になります。6つの支部とのつながりの中から幡多の活性化を応援したいと考えます。是非、幡多出身者に限らず、幡多とジョン万次郎を応援したい人達に参加を頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

日時: 令和6年11月17日(日)

18:00~20:30 第2回沖縄支部総会

懇親会場所: パシフィックホテル沖縄

懇親会住所: 〒900-0036 沖縄県那覇市西 3-6-1

費: ¥6,000(当日徴収) 食事: 飲み放題

問合せ電話 090-2143-6306(支部長 和田達雄)

問合せメール: john-tatsuo@clock.ocn.ne.jp

と office@kochi-hata.com(本部事務局)

申込締切 令和6年11月8日(金)以降は問合せ下さい。

参加名簿は11月10日までの受付分を受付時に配布します。

お知らせ:

絵画デザインを箸袋に印刷し、箸はヒノキ。4袋 1000 円です。土佐幡多の会にて幡多の小中学生の絵画デザインをコットンバックに印刷し販売しています。価格は700円です。

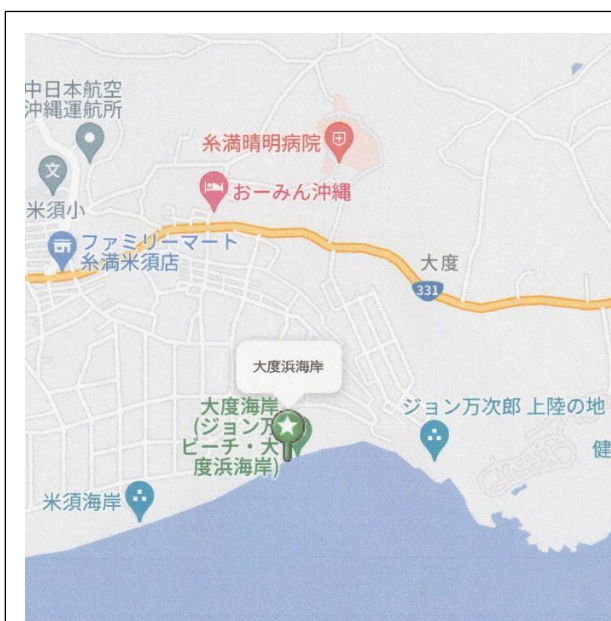


11月17日(日) 18時~第2回総会会場

パシフィックホテル沖縄 [098-868-5162](tel:098-868-5162) 那覇市西 3 丁目 6-1

会場ガーデンレストラン竜潭 [098-869-3433](tel:098-869-3433)

(参考) ジョン万次郎上陸記念碑
糸満市大度大度海岸ジョン万ビーチ

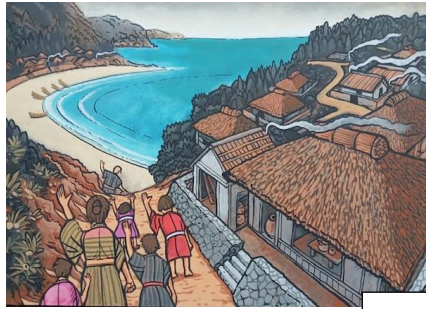


参加申込みは john-tatsuo@clock.ocn.ne.jp と office@kochi-hata.com に参加氏名(フリガナ)、連絡先住所、連絡先携帯電話番号、出身地、出身学校をメールでお願い致します。

ジョン万の紙芝居を作成しました。



①



②



③



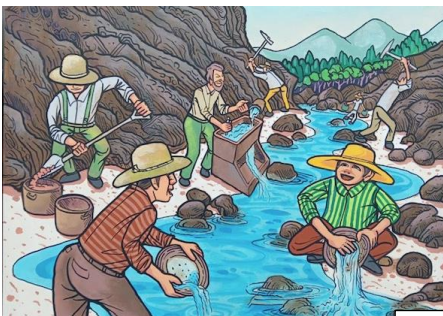
④



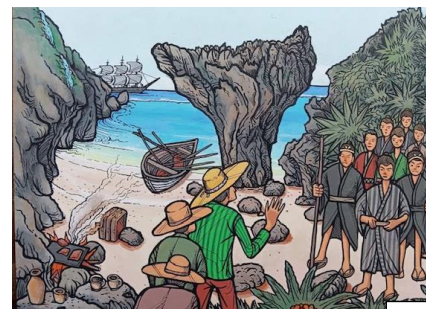
⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬



⑭



⑮

ジョン万次郎の紙芝居の解説

① はじまり、はじまり いまから「197年」前に、土佐の国（高知県）で生まれた万次郎さんが、何をしたかを、知ってもらおう話をしましょうね！	② 万次郎は漁師の次男として1827年1月23日(旧暦1月1日)土佐清水の中 no 浜で生まれました。7才の時には大人たちの仕事を手伝っていました。9才の時に父さんが病気になり亡くなり、生活が苦しくなりました。12才の時、お母さんの知り合いで宇佐という漁村で働くことになりました	③ 14才になった万次郎は宇佐の漁師4人と初めて漁に出ました。二日後目に突然のあらし(アナセシケ)になり舟はうねり、てんぷく寸前に「もうダメだ死んでしまう！」と万次郎は「なにを言うんだ！あきらめな！」とはげました。10日後、無人島(鳥島)に漂着したのです5人は「ここで死ぬことは無い！」「生きてかえるんだ」とはげましあい海藻やあほう鳥を食べながら生きのびました。
④ 143日後にアメリカの捕鯨船ジョン・ハウランド号、ホイット・フィールド船長に「助すけて！助すけて！」と万次郎が両手をふって叫び、5人が更に両手を！ふり助けられました。そして、クジラを取りながらハワイのホノルルの港に着きました。	⑤ 漁師仲間4人(伝蔵、重助、五右衛門、寅右衛門)はハワイで暮らすこととなりました。万次郎はホイット・フィールド船長とアメリカのフェア・ヘブーンという町で暮らすこととなりました。16才になった万次郎は、小学校へ入学し、17才から船の専門学校で一生けんめい学び19才でなんと首席(トップ)で卒業しました。	⑥ 友人の船長と捕鯨の仕事を3年4ヶ月間おこないました。7つの海をクジラを大西洋からインド洋そして太平洋と移動しました。1848年1月24日サンフランシスコのサクラメントで金が発見されました。
⑦ 捕鯨を終えた万次郎はフェア・ヘブーンを離れ材木船で仕事をしながら6カ月かけて金山のあるサンフランシスコからサクラメントで70日あまり、600ドル(500万円)を稼ぎ、ハワイに向かいました。伝蔵、五右衛門、寅右衛門に日本に帰る相談を寅右衛門はハワイで暮らすことになりました。3人で帰国の準備から安全で安心な琉球国に向かうことにしました。	⑧ 1850年12月17日ホノルルから上海行きお茶の買付船サラボイド号に3人は乗りました。琉球国への上陸用に買ったボートアドベンチャー号を積み込みました。琉球国摩文仁沖合いで下船し小度浜に上陸しました。1851年1月3日の朝8時頃でした。上陸した3人は朝食をとる為、くんせいの牛と豚肉を鉄板で焼いて、コーヒーを飲みました。まもなく村人や役人がやって来て地元役所の番所に連れて行かれました。	⑨ 万次郎たちは番所で取り調べを受けた後は、半年あまり豊見城の高安家という場所に預けられました。翁長の村人たちと仲良くなりハーイヤ、ハーイヤと大声で、つな引きの行事にくわりました。取り調べは琉球役人、板良敷ペーチンがアメリカ言葉で万次郎と話し合いました。万次郎はアメリカの国のことや人々の話をしました。もってきた17冊の本を説明、自由の国で身分の差別もなく男女平等に過ごしていると伝えました
⑩ 1851年1月4日から7月12日まで過ごした高安家を帰国の為に離れることになりました。那覇の港から薩摩藩の大聖丸に三人とアドベンチャー号のボートを載せ7月18日に鹿児島県の山川港に向かいました。	⑪ 薩摩の殿様、島津斉彬が『まっていたぞ、よくぞ来てくれた』と万次郎はよろこんで、アメリカの国の情報を伝えました。造船技術も教え、船を造らせました。万次郎たちは鹿児島から長崎奉行所に送られ、9カ月間の取り調べを受け、土佐藩(高知県)へ向かいました。	⑫ 土佐藩から17人が迎え高知城下に入り、とり調べを終え、やっと母さんの土佐清水の中ノ浜に着きました。11年と10カ月ぶりに「お母さん、ただ今！帰りました！」お母さんの手を強くつよくにぎりしめました。万次郎25才になっていました。
⑬ その後、万次郎は高知城下にて「さむらい」なり中浜万次郎と名のりしました。この年1853年5月アメリカの黒船艦隊のペリー提督が初めて琉球の那覇に来ました。首里城を訪問、大美御殿で親睦会をしました、その後日本の浦賀と久里浜の上陸して日米和親条約(神奈川条約)を結びました。	⑭ 1870年(明治3年)普仏戦争(プロイセンとフランス)の視察団としてのサンフランシスコから鉄道でニューヨークへ行きました。滞在中に休みをもらいフィット・フィールド船長に会いフェア・ヘブーンに行きました。「オオージョンマン、万次郎くん」万次郎は『船長！お世話になりました』21年ぶりの再会で、一夜を過ごしました。その時、船長66才、万次郎43才でした。 ◎普〜プロイセン、つまりドイツ統一を志す、北ドイツ連邦に加え南ドイツバデン大公国やヴュルテンベルク国王と同盟を結びフランスに勝利した×仏〜フランス	⑮ その後、土佐藩の開誠館という富国強兵の技術教育機関(学校)で英語の先生になりました。1871年明治4年には西郷隆盛、大久保利通、木戸孝充(桂小五郎)、板垣退助など、毎時時代に貢献した人々にアメリカの政治、文化、産業等々情報を伝えました。デモクラシー(民主主義)を知らせました何事にも諦めない、強い精神を貫いた万次郎の教訓を見習い、困難な事が起きた時には、あきた時には、万次郎さんを思い出し、立ち向かってくださいネ！最後まであきらめない万次郎！ジョン・マンズブリットです。 おしまい！